

花見公民館だより

2025年(令和7年)8月号



詳しくは、花見緑区
自治会のホームページ
をご覧ください。
<https://hanamiku.jp>

「敬老祝賀会」の日程が 決まりました

恒例の「敬老祝賀会」を、本年
も下記の内容で開催いたします。

日 時 9月16日(火)

12時から

会 場 ぶどうの樹 福津海岸通り
「マル・マーレ」

対 象 令和7年度中に
満75歳以上になる方

参加費 お一人千円

本年も、カラオケやお楽しみ抽
選会など、準備しております。

なお、これにあわせて、満
70歳以上の方には、記念品をお
配りいたします。9月中には、お
届けできると思います。

詳細は、回
覧チラシに記
載してありま
す。



20杯が満タンになりました。
業です。終わってから冷えたス
ポーツドリンクで乾杯です。



7月26日、8
時から、花見の
里の松林清掃が
行われました。
この日は10名
近い福間中学校
の皆さんや、7
人の福間病院の
皆さんも駆けつ
けてくれました。
松林沿道に集
積した、古木や
草木の類をかき
集め、フレコン

花見の里の松林清掃が
行われました

8月2日、郷づくり主催の「福間小校区
クリーン大作戦」に参加しました。
県道495線の旭橋から名糖前バ
ス停まで、歩道の清掃作業です。
地域の皆さんに加え、(株)キ
ーヘンの職員方も多く参加して
くれました。暑い中の、熱い作業で
した。

「ふくま郷づくりの会主催の 「福間小校区クリーン大作戦」

花見2区子ども会と花見3区子ども会
は、夏休みのラジオ体操を行いました。地
域の大人の皆さんも一緒に体を動かし、笑
顔が生まれる時間となりました。
なお、3区では18日から22日まで、後
半の部を行います。金剛寺の駐車場で、6
時30分から。頑張りましょう。

夏休みの子ども会
ラジオ体操に多くの参加



8月からの公民館行事予定

8月13日(水)	公民館休館(～8/15(金)まで)
8月17日(日)	分別ごみ収集日 (8時30分から9時30分まで)
8月18日(月)	花見3区子ども会の夏休みのラジオ 体操(後半)(～8/22(金)まで)
8月23日(土)	松林清掃・花見が浜松林 (8時から約1時間・花見が浜松林) 第3回組長会 (3・4区18時から、1・2区19時から)
8月28日(金)	小・中学校、二学期始まる
9月16日(火)	敬老祝賀会 (12時から・ぶどうの樹 福津海岸通り)

※予定は変更になる場合があります。

「花見スポーツフェスタ」が近づきました

従来の、花見区民体育祭に代わります「花見
スポーツフェスタ」の日程が概ね決まりました。
その中心となる、「花見んピック2025」の骨
子を、お知らせいたします。

日 時 10月12日(日)
8時30分から12時まで

会 場 福間中学校体育館

種 目 今月の回覧版の別紙をご覧ください

これ以外にも、グランドゴルフ大会やゴルフ大
会も実施いたします。ふるってご参加ください。

花見総区在住の満75歳以上の方へ
「敬老祝賀会」のご案内です



敬老祝賀会

花見総区

「敬老祝賀会」を開催します

【対 象】

令和7年度中に
満75歳以上にな
る方

今年もカラオケやお楽しみ抽選会など、
準備しております。

なお、これにあわせて、満70歳以上の
方には、記念品をお配りいたします。9月
中には、お届けできると思います。

【申込み】

9月7日(日)
までに組長さんか
公民館まで

【開催日・会場】

9月16日(火)12時から
ぶどうの樹 福津海岸通り『マル・マーレ』

【参加費】

おひとり
1,000円

【当日の主なスケジュール】

10:00 公民館集合（受付開始）
11:20 バス出発
12:00 開宴（カラオケ・抽選会など）
15:00 バス出発
15:30 公民館到着（解散）

【その他】

今年も会場まで
送迎あり

・非常用持出袋等を持参した参加者がいた ・区内で顔の見える関係性ができた	
---	--

(2) 感想・意見の集計

90 件の感想や意見をいただき、うち良かった点に関することが 57 件、悪かった点に関することが 18 件、感想等が 15 件ありました。

意見の分類	良かった点	反省点	計
訓練への参加	・予想より多かった ・区民の大半が参加 ・顔見える関係性の構築ができた	・参加者の減 ・参加者の世代の偏り ・参加者の高齢化	13
防災意識向上	防災意識の向上が図れた	防災意識の向上が課題	8
訓練周知	全戸回覧・案内の実施	回覧時期が早すぎた	4
防災行政無線		放送が聞こえにくい	3
要配慮者対策	要配慮者の安否確認を実施できた		1
タオル掛け	・防犯上、掲げたタオルをすぐに外す工夫をして実施できた ・SOS の場合、ベランダ等にタオルを掲げることとした	区で取組んだタオル掛けを実施した世帯が少なかった	5
中学生	中学生を活用(安否確認等)した訓練ができた		1
実施方法	・役員で事前会議や研修をした ・避難所での受付手順(名簿作成、整列点呼等)を整理し実施した ・SNS や ICT を活用して実施した	・地域の避難場所の再検討が必要	37
津波	津波を想定した訓練ができた	地域で津波への対応を考える必要を感じた	3
合計	57	18	75

○主なその他の意見

- ・ペットを同行しての避難者も増えてきた
- ・弾道ミサイルに備える訓練も検討する必要がある
- ・共助の訓練を実施し、地域課題への気づきがあった
- ・地域と学校の訓練(児童引渡訓練)の時間が重なった

3 福津市総合防災訓練&防災フェス in イオンモール福津の結果報告

令和6年11月17日(日)に福間南郷づくり地域郷づくり推進協議会、イオンモール福津、市の共催で、官民の枠を超えた16の協力企業等と「福津市総合防災訓練&防災フェス」を実施しました。当日は、地域住民や市消防団、消防本部、宗像水光会総合病院、自衛隊、企業の訓練と、協力企業等による展示ブースや車両の乗車体験、カレーの炊き出し訓練を行いました。このことにより、自助・共助・公助の連携強化と参加市民や市内外の買い物客に広く防災意識の普及啓発等を図ることができました。

参加者内訳

	訓練参加者数	展示観覧者数
実数	757 人	2,200 人
延人数	1,907 人	11,302 人

※イオンモール福津来場者 29,000 人 ※4 訓練、13 展示

4 まとめ

R6年度は、能登半島地震や、R5年度の防災訓練参加者の大幅増の流れを受け、防災に対する関心が高い中に実施されたこともあり、訓練内容も創意工夫がされ、より充実したものになりました。

また、小中学校等においては、大規模校の福間南小学校において、初めての全児童引渡訓練が行われました。津屋崎保育園も津波を想定して、津屋崎小学校の2階に避難するといったことも実施されました。

これまでの課題として、高齢者社会の到来による参加者世帯の偏りや、自治会未加入の方やマンション世帯への啓発など、地域だけでは解決できない問題がありました。

その解決策のひとつとして、福間南郷づくり地域郷づくり推進協議会、イオンモール福津、市の共催で、福津市総合防災訓練&防災フェスを実施しました。結果として、これまで周知の届かなかった方たちにも、防災意識の普及啓発ができましたし、一部地域からは、今後の任意訓練の参考になったとのお声もいただきました。

今後も、福津市一斉防災訓練を通して、避難における地域の課題解決に繋げていきたいと思えます。

令和6年度 福津市一斉防災訓練の結果について（報告）

1 参加率等のデータ

(1) 必須訓練

人口、世帯数は令和6年10月末現在

年度	人口	世帯数	避難者数 (参加率 %)
令和5年度	68,693 人	30,026 世帯	10,238 人 (14.90%)
令和6年度	69,115 人	30,500 世帯	9,258 人 (13.39%)
比較	+422 人	+474 世帯	-980 人 (-1.51%)

※避難者数は令和5年度と比較して9.5%減

※福津市総合防災訓練に参加した福間南一斉避難訓練参加者数757人を含む

(2) 任意訓練

郷づくり、自治会

年度	参加者数	前回比較 (%)
令和5年度	2,992 人	+237 人 (+7.9%)
令和6年度	3,229 人	

※参加者数は7.9%増

(3) 各郷づくりごとの集計

地域	勝浦	津屋崎	宮司	福間	福間南	神興	神興東	上西郷	計
必須	271 人	766 人	904 人	3,426 人	938 人	968 人	931 人	1,054 人	9,258 人
任意	130 人	706 人	319 人	422 人	100 人	503 人	980 人	69 人	3,229 人
人口	1,044 人	8,532 人	8,344 人	18,063 人	16,292 人	6,601 人	7,503 人	2,736 人	69,115 人

※地域により、人口や地域性が異なるので、参加者数はあくまで、指標のひとつ

(4) 市職員研修

年度	参加者数	前回比較 (%)	訓練内容
令和5年度	75 人	-2 人 (-2.6%)	・災害対策本部設置訓練 ・防災研修（災害時における行政の役割） 講師 福岡県防災危機管理局防災危機管理専門 監 安武 智彦 氏
令和6年度	72 人	-3 人 (-4%)	・福津市災害図上訓練 ・防災研修（熊本県の風水害、地震対応などか らの教訓）講師 熊本県初代危機管理防災企画 監（防災軍師）有浦 隆 氏

※災害図上訓練と防災研修の二部構成です。

(5) 学校、保育園の訓練

年度	参加者数	前回比較 (%)
令和5年度	1,973 人	+4,452 人 (+225.6%)
令和6年度	6,425 人	

※小学校の児童引き渡し訓練の保護者の参加者数も含めます。

学校、保育園ごとの集計

学校名等	訓練概要	児童生徒等	保護者等	備考
津屋崎保	避難訓練	55 人	9 人	津波を想定し、津屋崎小 2F 廊下に避難
勝浦小	防災学習	75 人		地域の訓練参加前に防災学習
津屋崎小	防災学習 児童引渡訓練	1,070 人	910 人	地域の訓練参加前に防災学習
福間南小	防災学習 児童引渡訓練	1,560 人	1,330 人	
神興小	防災学習 児童引渡訓練	270 人	230 人	
津屋崎中	防災学習	459 人		
福間東中	防災学習	457 人		11/8 中1 なまずの郷へ避難 10/8 中2 防災学習会 (NHK) 11/8 中3 避難所運営学習会 (県防災士)
合計	6,425 人	3,946 人	2,479 人	

2 訓練を通じての感想と意見集約

(1) 主な感想・意見など

良かった点	反省点
・小中学校と連携し取り組んだ地域があった ・地域役員やチームを作って、要配慮者宅を訪問し、安否確認を実施した地域があった ・防災意識の向上に繋がった ・中学校の協力もあり、中学生を訓練に活用できた地域があった ・全戸にチラシ案内し、回覧を複数回に分けるなど、周知を徹底できていた ・訓練を繰り返し行うことにより、スムーズな避難行動がとれていた ・役員の指示に円滑に訓練ができた ・避難者把握の効率化のため、ICT や SNS を活用した地域があった ・津波を想定した訓練を実施できた地域があった	・参加世帯の偏り (若い世代の参加少ない、高齢者が多い) ・訓練実施について、周知できていないことを感じた ・自治会員でない方やマンション世帯の実施状況の把握が困難 ・マンネリ化 ・地理的条件を考えた場合の一次避難場所の再検討 ・役員の連携がうまくいかなかった ・地区防災マップ作成の必要性を感じた ・区の他の行事と重なった ・津波の想定に課題が残った